

# 18-3 ボランティア



活動

自分で決めたことを言う / あみだくじで決まったことを言う。

かたち



時間

## せつめい編

文-73 Vこと / Nになります

文-74 Vこと / Nにします

## 準備する物

## 使うことば

公園、花、植える、空き缶\*、集める、リサイクル\*、出す、お年寄り\*、話す、体、不自由\*、助ける\*、ごみ、拾う、子供、遊ぶ、どれ、同じ、仕事、探す

## 談話の技術

- 相手の発話を聞いて話を進める(じゃあ)
- 間をとる(ええと)
- 確認する(~ですね)

## 手順

1. 初めに、教師はクラスのみんで地域のボランティア活動をする事になり、生徒の担当する活動をこれから決めるという状況設定を説明する。

2. 教師は次のような手順であみだくじを作る。

① 図(1)のように長い横線を活動の数だけ黒板に書く。

② 線の左端に数字を書き、右端に活動を書く。活動の部分はできれば隠しておく。

3. 活動の数と同じ人数のグループを作る。

4. 各グループの中で、順番を決め、決めた順番に、一人ずつ<モデルテキスト>(1)のように、あみだくじの番号を選ぶ。

すでに他の人が選んだ番号は選ばないことにする。

5. 図(2)のように横線の間に短い縦線を適当に書く。図(2)の左の番号から横線と縦線を順番にたどっていき、結びついた活動がその番号の活動になる。

6. 学習者は<モデルテキスト>(2)のように会話をしながら、ほかのグループで同じ活動になった人を探す。

7. いっしょに活動をするグループが決まったら、自分たちのグループが何をするかを<モデルテキスト>(3)のように発表する。

あみだくじの図(1)

①	_____	こうえんに花をうえる
②	_____	あきかんを集めてリサイクルに出す
③	_____	お年よりと話す
④	_____	体の不自由な人をたすける
⑤	_____	こうえんのごみをひろう
⑥	_____	小さい子どもを集めてあそぶ

あみだくじの図(2)

①	_____	こうえんに花をうえる
②	_____	あきかんを集めてリサイクルに出す
③	_____	お年よりと話す
④	_____	体の不自由な人をたすける
⑤	_____	こうえんのごみをひろう
⑥	_____	小さい子どもを集めてあそぶ

## モデルテキスト

(1) A : Bさんはどれにしますか。

B : わたしは1にします。

Cさんはどれにしますか。

C : ええと、わたしは3にします。

Dさんはどれにしますか。

D : じゃあ、わたしは2にします。

Eさんはどれにしますか。

E : わたしは5にします。

Fさんは。

F : わたしは6にします。

A : じゃあ、わたしは4ですね。

(2) G : Bさんは何を<sup>なに</sup>することになりましたか。

B : わたしは、こうえんのごみをひろうことになりました。

Gさんは、何を<sup>なに</sup>することになりましたか。

G : わたしも、こうえんのごみをひろうことになりました。

じゃあ、同じ仕事<sup>おな しごと</sup>をする人<sup>ひと</sup>をさがしましょう。

(3) わたしたちは、こうえんのごみをひろうことになりました。

## バリエーション

(1) クラス全員ぜんいんが参加さんかして行う別おこなの活動べつを  
設定せっていする。

例：文化祭ぶんかさい

### 先生へ

- ・ あみだくじは、縦たてに長い線ながを引いて、その間あいだに横よこの線せんを引くのが一般いっぱん的てきだが、ここでは、黒板こくばん  
に書きやすいように、横書きよこがにした。
- ・ 実際じっさいに仕事しごとの分担ぶんたんなどを決めるときに、あみだくじつかを使うことができる。